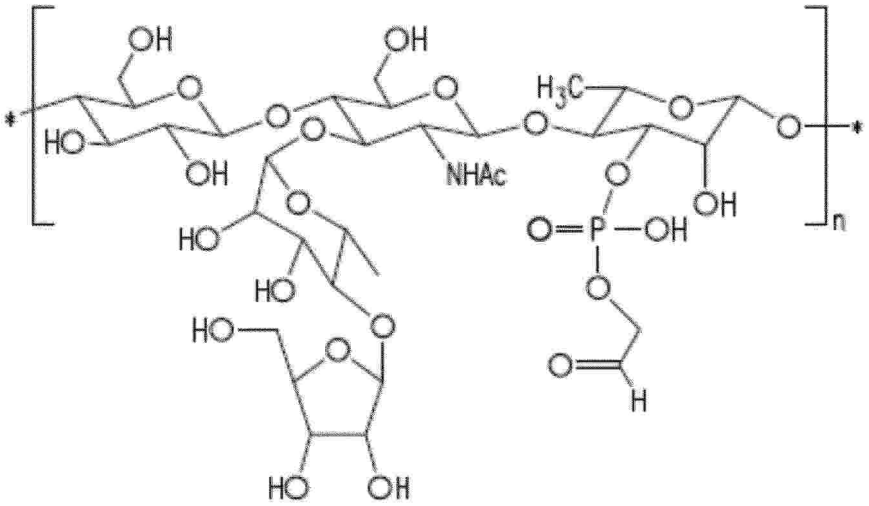
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年8月20日(2024.8.20)

【公開番号】特開2024-56835(P2024-56835A)
【公開日】令和6年4月23日(2024.4.23)
【年通号数】公開公報(特許)2024-075
【出願番号】特願2024-19152(P2024-19152)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｂ 37/00(2006.01)
Ａ６１Ｋ 47/64(2017.01)
Ａ６１Ｋ 39/08(2006.01)
Ａ６１Ｋ 39/10(2006.01)
Ａ６１Ｋ 39/05(2006.01)
Ａ６１Ｋ 39/09(2006.01)
Ａ６１Ｋ 39/00(2006.01)
Ａ６１Ｋ 39/39(2006.01)
Ａ６１Ｋ 47/02(2006.01)
Ａ６１Ｋ 47/22(2006.01)
Ａ６１Ｐ 31/04(2006.01)
Ａ６１Ｐ 37/04(2006.01)
Ａ６１Ｐ 11/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｂ 37/00 Ｐ
Ａ６１Ｋ 47/64
Ａ６１Ｋ 39/08
Ａ６１Ｋ 39/10
Ａ６１Ｋ 39/05
Ａ６１Ｋ 39/09
Ａ６１Ｋ 39/00 Ｈ
Ａ６１Ｋ 39/39
Ａ６１Ｋ 47/02
Ａ６１Ｋ 47/22
Ａ６１Ｐ 31/04
Ａ６１Ｐ 37/04
Ａ６１Ｐ 11/00

【手続補正書】
【提出日】令和6年8月9日(2024.8.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
以下の構造を含む活性化多糖体：

【化１】



［式中、ｎは、繰り返し単位数を示す］。

【請求項２】

更にリンカーを含み、該リンカーは、活性化多糖体の１級アミノ基を用いて多糖体に結合される、請求項１に記載の活性化多糖体。

【請求項３】

リンカーが、リンカーの少なくとも1つの末端上で少なくとも1つのエステルを含む、請求項２に記載の活性化多糖体。

【請求項４】

リンカーが、アミド結合を通して多糖体に結合される、請求項３に記載の活性化多糖体。

【請求項５】

リンカーが、アジピン酸Ｎ－ヒドロキシスクシンイミドジエステル（ＳＩＤＥＡ）を含む、請求項２に記載の活性化多糖体。

【請求項６】

活性化多糖体が、５０ｋＤａ～１，０００ｋＤａの分子量を有する、請求項１に記載の活性化多糖体。

【請求項７】

活性化多糖体が、１００ｋＤａ～８００ｋＤａの分子量を有する、請求項１に記載の活性化多糖体。

【請求項８】

活性化多糖体が、１００ｋＤａ～３００ｋＤａの分子量を有する、請求項１に記載の活性化多糖体。

【請求項９】

請求項１に記載の活性化多糖体及び薬学的に許容される担体を含む、免疫原性組成物。

【請求項１０】

更に複数の追加の多糖体を含み、該追加の多糖体のそれぞれは、
１、２、３、４、５、６Ａ、６Ｂ、６Ｃ、６Ｄ、７Ｂ、７Ｃ、７Ｆ、８、９Ｎ、９Ｖ、１０Ａ、１１Ａ、１２Ｆ、１４、１５Ａ、１５Ｂ、１５Ｃ、１７Ｆ、１８Ｃ、１９Ａ、１９Ｆ、２０、２１、２２Ａ、２２Ｆ、２３Ａ、２３Ｂ、２３Ｆ、２４Ｆ、２７、２８Ａ、３１、３３Ｆ、３４、３５Ａ、３５Ｂ、３５Ｆおよび３８よりなる群から選択される、特定のストレプトコッカス・ニューモニエの血清型の多糖体を含む、請求項９に記載の免疫原性組成物。

【請求項１１】

前記免疫原性組成物が、存在する場合０．８～８μｇ／ｍＬの多糖体を含有する血清型

６Ｂ多糖体を除いて、０．４～４μｇ／ｍＬの各多糖体を含むように製剤化される、請求項１０に記載の免疫原性組成物。
【請求項１２】
前記免疫原性組成物が、１５０ｍＭ塩化ナトリウムと、２０ｍＭ　Ｌ－ヒスチジン緩衝液と、０．０５～２％ｗ／ｖの界面活性剤とをさらに含むように製剤化される、請求項１１に記載の免疫原性組成物。
【請求項１３】
アジュバントをさらに含む、請求項１２に記載の免疫原性組成物。
【請求項１４】
前記アジュバントがアルミニウムベースのアジュバントである、請求項１３に記載の免疫原性組成物。
【請求項１５】
前記アジュバントが、リン酸アルミニウム、硫酸アルミニウムおよび水酸化アルミニウムからなる群から選択される、請求項１４に記載の免疫原性組成物。
【請求項１６】
前記アジュバントがリン酸アルミニウムである、請求項１５に記載の免疫原性組成物。
【請求項１７】
前記リン酸アルミニウムアジュバントが０．０５～０．５ｍｇ／ｍＬの濃度で存在する、請求項１６に記載の免疫原性組成物。
【請求項１８】
ストレプトコッカス・ニューモニエ莢膜多糖体に対する免疫応答を誘発するための、請求項１０に記載の免疫原性組成物。
【請求項１９】
前記免疫原性組成物が、存在する場合４μｇである血清型６Ｂ多糖体を除いて、２μｇの各多糖体と、０．１２５ｍｇのリン酸アルミニウムアジュバントと、１５０ｍＭ塩化ナトリウムと、２０ｍＭ　Ｌ－ヒスチジン緩衝液と、０．２％ｗ／ｖのＰＳ－２０とを含有するように製剤化された単一の０．５ｍＬ用量である、請求項１８に記載の免疫原性組成物。
【請求項２０】
請求項１に記載の活性化多糖体を含む多糖体混合物であって、ここで該活性化多糖体は、混合物中の総多糖体の５０％を超える、多糖体混合物。
【請求項２１】
更に、１以上の非活性化多糖体を含む、請求項２０に記載の多糖体混合物であって、該非活性化多糖体のそれぞれは、１、２、３、４、５、６Ａ、６Ｂ、６Ｃ、６Ｄ、７Ｂ、７Ｃ、７Ｆ、８、９Ｎ、９Ｖ、１０Ａ、１１Ａ、１２Ｆ、１４、１５Ａ、１５Ｂ、１５Ｃ、１７Ｆ、１８Ｃ、１９Ａ、１９Ｆ、２０、２１、２２Ａ、２２Ｆ、２３Ａ、２３Ｂ、２３Ｆ、２４Ｆ、２７、２８Ａ、３１、３３Ｆ、３４、３５Ａ、３５Ｂ、３５Ｆおよび３８よりなる群から選択される、特定のストレプトコッカス・ニューモニエの血清型の多糖体を含む、多糖体混合物。